



健やかな良いと年でありますように

新しい年を皆様お健やかに迎えのことに
思います。元旦には、今年一年の家内安全や健
康祈願、厄払いなど大歳神社に初詣に訪れる家



族が見られました。
途中で荒れた天候と
なり、2日には約3
0cmの積雪となりま
した。珍しく正月か
ら除雪車の出動とな
りました。

二十四節気では「小寒」から「大寒」へとな
りました。『小寒の氷、大寒に解く』という言
葉があります。これ
は最も寒さ厳しい大
寒が、小寒よりも温
かいことを意味し、
「物事が必ずしも順
序どおりにはいかな
い」という意味で使
われます。「大寒」は「立春」の前日までで、
最終日が節分になります。大寒になると、季節
的には三寒四温、三日寒さが続くと、四日温か
い日が訪れるようです。そのため、ずっと寒か
った小寒より、温かい日が訪れるようです。



また、今年午年、また60年に一度の「丙
午(ひのえうま)」の年です。午は太陽が最も高
く昇る「正午」の時間帯を
象徴しています。そのた
め、午年は「陽気」「情熱」
「前進」「飛躍」といった、
明るく力強いエネルギ
ーに満ちた年とされていま
す。馬のように一直線に駆



け抜けるイメージから、「挑戦」や「成功」、「出
世運」とも結びつけられています。「勝ち馬に
乗る」、「馬車馬のように働く」といった言葉に
も表れるように、
努力と集中力が実
を結びやすい年
です。自分の情熱を
信じて、前向きに
進んでいきましょ
う。



新温泉町二十歳のつどい

1月11日(日)夢ホールにおいて、『新温泉町二十
歳のつどい』が実施されました。当日は、あいにく冬
型の気圧配置の天候ではありましたが、対象者や親御
さんなどが
参列し、二
十歳になっ
た門出を関
係者でお祝
いをしまし
た。



対象者は122名で104名が出席しました。居組
からは株本涼太さん、西垣凜斗さん、松岡源大さんの
3名が二十歳となり、株本さんと西垣さんが出席しま
した。式典では、西村町長等の激励や交流があり、久
し振りにあった友人等とともに、楽しい一時を過ごし
ました。



株本涼太さんと西垣凜斗さん(右)

一人のメッセ
ージを紹介し
ます。
『20歳を迎え
て大人として
の責任を感
じます。私が
就くのは、人
々を支えて
いく職なので
、自覚を持
ち、日々努力

に励みます。』。人生これからも、いろいろ喜びや困難
があるかもしれませんが、負けないで頑張っ
て、活躍
していただくよう願っています。

漁港駐車場に東屋完成

令和4年に居組漁港上屋が老朽化により取り壊さ
れ、それまで高齢者の憩いや交流の場としていた建物
がなくなり困っていま
したが、西崎区長が要
望し、川越組合長の肝
いりで、海業事業の一
環として、駐車場の一
部に東屋が完成しまし
た。これから区民など



の憩いの場、交流の場としてご利用いただければと思
います。景色の良いところで海を眺めながらゆっくり
と話をしたり、日除け・雨除けにもなります。

大歳神社総代等改選

大歳神社総代等の任期満了に伴い、この度改選選挙が実施されました。総代選挙結果と一部町内の宮委員の改選は次のとおりです。役員の方々は、これから2年任期です。よろしくお願いいたします。(※は再任です。敬称略)

- 宮総代 坂尾繁一(向町) 大川俊一(寺町)
西垣高弘(本町)
- 宮委員 ※西垣 進(向町) ※中村義行(中島町)
※三保谷弘道(川町) ※諸道春夫(本町)
※田中栄治(仲町) 中原啓治(浜町)
西岡教敬(往還町) 山口光夫(寺町)
- 監査委員 吉野信次(中島町)

龍雲寺役員一部改選

龍雲寺寺委員の一部が改選されました。新しく代わった寺委員は2年任期で、次のとおりです。

- 寺委員 西岡 寛(寺町) 段 美奈子(川町)
亀谷久雄(向町)

歴史の散歩道 4 5 明治と昭和5

往還町 180～212番屋敷

明治43年4月 諸寄より新規独立し、197番屋敷(西谷商店敷地内)に仮駐在所を構えて、居組駐在所が誕生。

八幡屋敷は、稚蚕飼育所から青年会館と替わり現在は婦人の家が建つ。

昭和期に、竹輪製造所や朝日スポーツ(硬式野球ボール製造)が在った。

寺町 213～247番屋敷

旧道居組谷から七坂へ通じる街道筋。

江戸期までは天台系の吉祥院。

曹洞宗龍雲寺は、慶長元年(1596)の開山。時を知らせる鐘が鳴り響く。

昭和26年に、居組区へ寄進された土地は、診療所跡地。昭和の西大工小屋(造船所)は、後に縫製工場へと替わっていた。



鐘楼と追悼碑(左)

龍雲寺境内には、鉄道建設工事中の事故・病没者等を慰霊した追悼碑が建立されている。

(龍雲和さく記)

各町内で新年初会

1月3日(土)に各町内でそれぞれ新年の初会が開催されました。大歳神社や龍雲寺など各組織の事業報告や決算、今年の実業計画や予算などの説明があり、それぞれ承認されました。

また、今年改選される役員や担当などを決め、今年も町内や地域組織の運営にお世話をいただくことになりました。よろしくお願いいたします。



その他地域の要望等について意見交換が行われ、各町内から次の意見や要望が出されました。

- 向町の三保谷さん宅前に水たまりができる。水門を開ける等何とかならないか。
 - 海業、空家バンク等経過がわかるようにしてほしい。
 - 妙見山の水路についてどうなっているか。
 - 運動会の商品券は好評であった。
 - 海岸に動物のフンが多いので処理できないか。
 - 居組地区は選挙の投票率が町内最低である。投票に行ってほしい。
 - 防災等の関係で、要援護者の把握ができていないか。
- いろいろ出された意見や要望については、協議会で善処していただきたいと思っております。

2月の主な行事予定

- ◎4日(水)14:55～15:10 木谷宅前
移動図書館車来所
- ◎14日(土)8:30～ 公民館
浜坂西子ども教室
- ◎未定13:30～ 公民館
ポーセラーツ教室
- ◎毎週金曜日 公民館
いきいき百歳体操

居組の人口と世帯数

	前月比	前年比
男	205名(0名)	(△9名)
女	242名(0名)	(△6名)
合計	447名(0名)	(△15名)
世帯数	226世帯(0世帯)	(△4世帯)

※ △は減

【令和8年1月1日現在】

2

February

諸寄

Moroyose-chiku-kouminkan

発行
第356号
令和8年1月22日
諸寄地区公民館



ご家族お揃いで輝かしい新年を
お迎えのことと幸いです。

本年が皆様にとりまして
素晴らしい一年でありますよう
お祈り申し上げます。

令和8年1月 諸寄地区公民館長

令和8年 初春の祈り 初詣 とんど。



1月1日八坂神社と社務所には年明けと同時に多くの参拝客が訪れ、今年一年の無病息災や家内安全、商売繁盛、村内安寧を祈願しました。(上の写真は社務所参拝の様子)

1月7日早朝よりお飾りさんや御神札、御守お飾りなどをお焚き上げ、感謝と一年の無病息災を祈願しました。(写真右4枚 各町内とんど焼き)



[元旦初詣の様子と、7日 午前7時頃からの各町内のとんど焼きにお邪魔しました]

「西小 子ども教室」今年も開催します!

早いもので令和2年から始まった、子ども教室も今年で7年目を迎えます。

テーマ 未来に向け、子どもたちが、自主的に学ぶ姿勢をはぐくむ
内容 学習支援(日々の学習の習慣づけや学力の定着・向上を図る)

「自主的な学びの場」と「安全安心な居場所」を確保する取組
公民館だよりで次月の日程をお知らせいたします。

今年も月4回(浜坂・居組・東小・諸寄)を予定しています。

各場所で午前8時30分より10時の予定です。

令和8年は1月24日(土)がスタートです。

西小校区は(センター集会室)又、4か所どこでも参加できます
新規参加者は各学校か、公民館 前田に申し込み下さい。



毎月1~2回、山吹会・アロハフラ教室 開催しています。参加者募集中です!



毎月第(1・3)土曜日 午後1時30分~

場所: 集落センター集会室・和室

講師: 伊藤 明美さん 現在9名で活動中

毎月第1・第3土曜日の午後1時30分から、集会室で行っています。身体を動かすと脳が活性化します。新しい方も募集中です。

2月の教室は7日、21日です。

毎月第2土曜日 午後1時30分~

場所: 集落センター集会室・和室

代表: 桶本 千鶴さん

毎月第2土曜日の午後1時30分から、集会室・2階和室で行っています。4名と浜坂地域からの方と合同でも行っています。

2月の教室は14日予定しています。

12/27 令和7年最後の生け花教室開催しました。

今回はお正月に合わせ最終土曜日(12/27)午後1時30分から集会室において、8名の参加で開催しました。

お正月の玄関に似合う、枝若松 2、ピンポン菊 2、千両、オンシジューム、ハランを活けると素晴らしい正月飾りに生まれ変わります。皆さんの家の玄関や床の間も一段と引き立っていることでしょう。センターの玄関にも先生の作品を飾っています。新たに生け花をしたいと思っている方、体験でもいいです、一度覗いてみませんか! お待ちしています。

新規参加者も募集中です!

080-4692-4441 前田まで!



「諸寄地区青推協からのお知らせ」

2月22日(日)グラウンドゴルフ大会を開催します。

2月10日までに申し込み下さい。(準備都合上)
センター-掲示板前に記入か前田・青推協会長まで
前田 080-4692-4441 大栃学 090-5370-6133
競技終了後は集計後、集会室において表彰式
子ども中心にたくさんの飛び賞もゲットしてね!
公民館運営委員・青推協(小・中)グラウンドゴルフ交友会の方、委員は9時集合で準備です。

と き:2月22日(日) 午前9時30分より
と ころ:集落センター(親子は9時15までに)
雨天時は体育館で(グリーンシート敷)
講 師:公民館GGゴルフのメンバーの皆さん
「大人も子どもも一緒になって頑張りましょう」
表彰式 1~5位そして飛び賞もたくさん用意
ホールインワン賞(大人、子ども共に)
今回は飲食なし、全員に参加賞ありますよ!



2月も「健康ヨガ教室」開催します。



と き : 2月15日(日)1時30分~
と ころ : 集落センター 2階和室
参加費 : 500円
講 師 : 田西 美登里先生
休憩時のお茶もご持参ください。
寒い時期です。暖かい服装でお越しください。お待ちしております。

「陶器教室」今年は「おひなさま飾り」から開催します。

おひなさま 可愛いですよ!

と き : 1月29日(木)
14時00分~16時00分
と ころ : 集落センター 集会室
講 師 : 岡田 耕治 090-7772-9813
参加費:(今回は500円忘れずに)
持ち物 : 休憩時のお茶もご持参ください
寒い時期ですので暖かい服装でお越しください。お待ちしております。





2月の公民館講座のご案内



健康ヨガ教室	15(日) 13:30~2階和室
青推協グラウンドゴルフ大会	22(日) 9:30~雨天時 体育館で!
西小子ども教室	28(土) 8:30~研修に
陶器体験教室	2月は未定です。14:00~集会室



その他・自主活動の教室

グラウンドゴルフ	(毎週 火・木・土・日) 9時~
習字教室	(毎週土) 15:00~研修室
雪浜吟詠会	(毎週火)3・10・17・24 13:30~研修室
山吹会	7・21 (土)13:30~集会室
アロハフラ	14 (第2土曜)13:30~集会室

新年度から、取り組んでみたいことがありましたらドシドシ意見をお聞かせ下さい。

諸寄スケッチ

12/20 公民館書道教室(ダツゲーム)楽しいクリスマス会でした!



諸寄と釜屋の人口と世帯数

	前月比	R7 1月1日比
男	488名 (△1名)	(△8名)
女	536名 (0名)	(△17名)
合計	1,024名 (△1名)	(△25名)
世帯数	479世帯 (1世帯)	(△8世帯)

※ △は減

【令和8年1月1日】

さあ~的を見て真剣に、景品もかわいい当たっちゃった

ひとつなみ

少し遅れましたが、新年あけましておめでとうございます。区民の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も公民館活動に更なるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。2日には30センチの大雪ビックリしましたね

1月6日には10時18分頃の地震、久しぶりの大揺れにビックリしましたネ!私もセンター初出の日で久しぶりに大きな揺れを実感しました。そして今年はその後厳しい寒さが続いています。皆さん被害はなかったですか?

きのうで一週間が過ぎました。(地震)この間心配されるような揺れはなかったですが、今日も起きるかもしれないと不安な状態辛いですネ。

元旦は12時過ぎから近くの八坂神社社務所に初詣へ、4日は町内のお日待ちで社務所に、町内の方の無病息災、家内安全、村内安寧を祈願しました。7日はとんど焼きに朝7時すぎから家を出て、各町内の指定場所巡りで写真撮りやお話もしました。私の町内は八坂神社忠霊塔のある場所で、お飾りや昨年のお札など焼き上げました。私は各町内の後でしたから遅かったですが、皆さん朝早くからとんど焼きに参加ご苦労様でした。

そして昨年は初めての陶器体験教室に参加しました、自分でこねて形を作る、素晴らしい体験を経験しました。新しい体験、新年度も又募集します。お楽しみに!

おおば地区

公民館だより

令和8年2月号

大場地区の皆様 新年明けましておめでとうございます。

今年も新年早々大変寒くて、1月2日からは大雪になりました。現在は雪はなくなりましたが定期的に大寒波（10年に一度とか）が来ています。

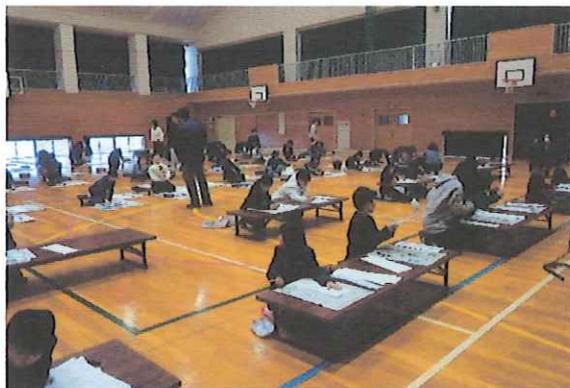
公民館事業は公民館長の私的事情により休みになったりしている事業もありますが何とか実施しています。2月からはまともに事業をできますから今後ともよろしく願いたします。

公民館長 小谷 明

1月9日（金）浜坂南小学校で書初め大会がありました

1月9日（金）浜坂南小学校で書初め大会がありました。明日（10日）から大寒波（10年に一度）が来て大雪の可能性があるといわれ、ほんとうに寒い日でしたが、先生方が朝早くから体育館を温めてくれていて、全校生徒が体育館で書初めを実施することが出来ました。

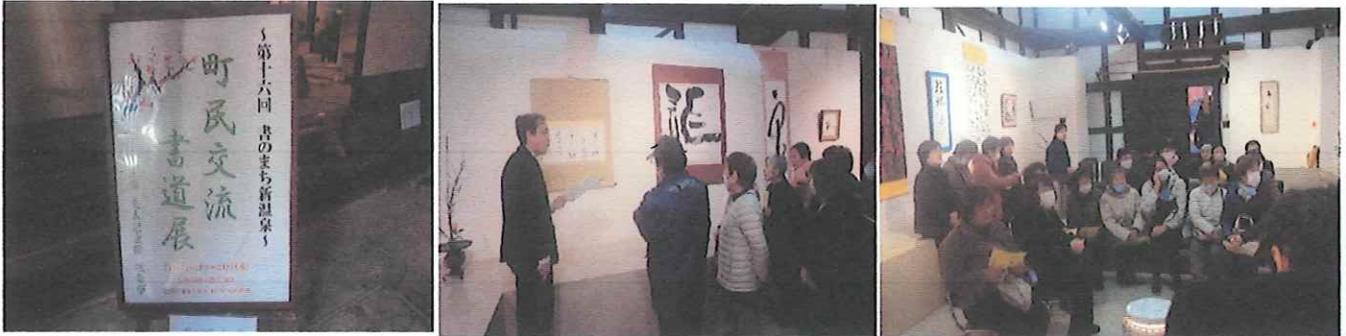
校長先生の挨拶で始まり、公民館長が6年生の手本を書いて見せ、大きくて、太くて、強い字を書いて下さいと指導を致しました。



1月10日（土）～21（水）以名亭で新温泉町町民交流書道展

新温泉町内の書道愛好者らの作品「書の町 新温泉町町民交流書道展」が以名亭で開かれました。初日の1月10日（土）には出品者本人、関係者によるそれぞれの作品についての解説、説明をするギャラリートークも行われました

会場には古典や臨書、俳句を題材にした作品25点が展示され、ギャラリートークでは漢字とかな混じり調和体、自由書、漢字等の作品について出品者本人による説明（迫力、調和等）がありました。



作品の説明をする出品者

ギャラリートークへの参加者

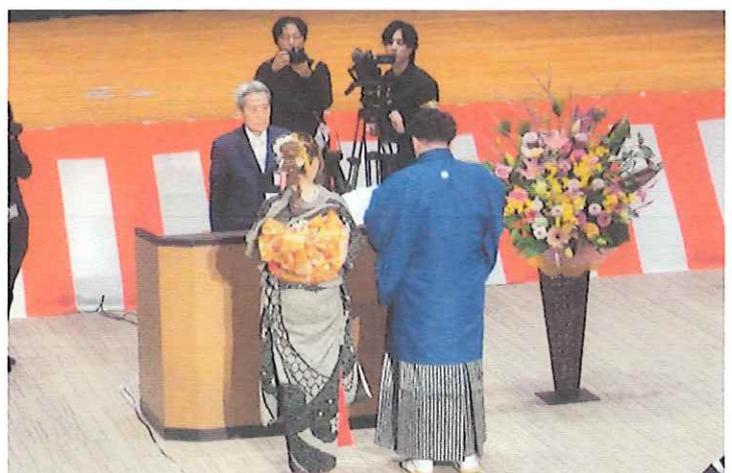
1月11日（日）夢ホールで「二十歳のつどい」が開催されました

1月11日（日）、10年に1度といわれるほどの大寒波が襲い、雪が降る中新温泉町の夢ホールで「二十歳のつどい」の式典が盛大に開催されました

式典には対象者122人のうち104人が出席されました。家族や来賓の方々が見守る中、「二十歳」の門出を祝った。

町長は「新温泉町を心のよりどころとして、失敗を恐れず夢に向かっていろいろな事に挑戦をしてほしい」と激励した。

参列者を代表して田村さん（男性）と中村（女性）さんが「成人の自覚を持って社会に貢献し。一度しかない人生を誇れる大人に成長する」と決意表明を述べました。



上の写真は決意表明をする二人です
(大変頑張りましたご苦労様でした)

左の写真は式典を進行する二人です
(大変頑張りましたご苦労様でした)





KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN KUTOTIKUKUMINKAN

大 寒

1月20日は二十四節季の大寒で、一年で最も寒さが厳しい頃とされています。

大寒には古来より、厳しい寒さを乗り切り穏やかに春を迎えるためのさまざまな風習があります。

特に寒さの厳しいこの時期には、体を温めるために甘酒がよく飲まれており1月20日は「甘酒の日」にも制定されていますし、大寒たまごや寒餅などを食べて縁起を担ぐ地域もあるようです。

大寒ならではの食べ物や旬の食材を食べて体力をつけ、寒さに負けず健やかに過ごしましょう。



子育てひろば・地域食堂(いずみ食堂)

1月17日(土)に幼児親子を対象にした子育てひろば(いちごくらぶ)のお楽しみ会が東小ミーティングルームで開催されました。宝探しゲームなどを楽しんだ後、餅つき機を使って餅をつくり、きな粉をまぶしたり、ぜんざいにしておいしくいただきました。また、いずみ会の皆さんが準備してくださった豚汁や野菜サラダ、シフォンケーキなどの料理も振る舞われ、楽しく過ごすことが出来ました。なお、「地域食堂(いずみ食堂)」は今後も継続しますので、一般の方もお気軽にお越しください。(公民館関連事業のご案内参照)



二十歳のつどい

新温泉町の「二十歳のつどい」が1月11日(日)に夢ホールで開催され、対象者122名のうち104名が出席しました。華やかな振袖やスーツ姿の二十歳の皆さんには、しっかりした大人の雰囲気を感じました。町長を始め来賓の方々との挨拶には「この町をよりどころに失敗を恐れず夢に向かって挑戦してほしい」と町の将来につながることを期待する想いが込められ、二十歳の代表からも、大人の自覚を持って社会に貢献していく決意が述べられました。その後、門出を祝って麒麟獅子舞が披露され会場はお祝いムードに包まれました。

東小 1・17 のつどい

令和8年1月17日は、阪神・淡路大震災が発生してから31年になります。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、地震・災害への備えや命の大切さなどを学ぶため浜坂東小学校でも1月16日（金）に「1・17のつどい」が催されました。最初に全員で1分間黙とうし、山本校長先生から31年前に阪神淡路大震災という大きな地震があったこと、災害は、他人事ではなく自分のこととして備えてほしいとのお話がありました。その後、災害関連ビデオを視聴し「しあわせを運べるように」を全員で合唱して、命の大切さや日頃の備えの大切さを学びました。



野草を楽しむ「フユイチゴ（冬苺）」



フユイチゴはキイチゴの仲間の常緑性の低木で、この辺りでも山道や林の縁などでよく見かけます。

秋に白い花を咲かせてその名のとおり冬に果実が熟しますが、この時季に実っているキイチゴは他にはなく、ルビーのような美しい赤い実を光沢のある深緑色の葉の間からのぞかせています。

実は生食でも食べられますが、酸味が強くジャムや果実酒として利用すると更に美味しく頂けます。なお、クエン酸やブドウ糖などが含まれていますしビタミンCも豊富なので、美肌や疲労回復、食欲増進などの効果が期待されます。（あ）

公民館関連事業のご案内

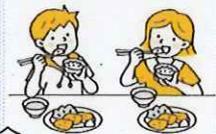
◇ 地域食堂（いずみ食堂）・・・・・・・・・・・・・・・・

食で繋がる温かさ、安心して過ごせる「居場所づくり」の一環として、いずみ会の皆さんが調理した食事を提供しますので、どなたでもお気軽にお越しください。

日時 2月21日（土）11:30~12:30

場所 新温泉町町民センター 参加料 無料

協力 いずみ会、麒麟のまち地域食堂ネットワーク、新温泉町社会福祉協議会



◇ ストレッチ教室（久谷）

リラックスし無理のないよう徐々に体をほぐし、軽やかに動ける体を目指しましょう。

日時 2月16日（月）9:30~10:30

場所 久谷民俗芸能伝承館 2F 和室

講師 阿瀬宏太（柔道整復師）

◇ 子育てひろば（お楽しみ会）

就学前の幼児親子を対象に、ゲームを楽しんだり簡単な工作を作り親睦を深めます。

日時 2月21日（土）10:00~11:30

場所 新温泉町町民センター

対象 親子 講師 いちごくらぶ

久斗地区公民館連絡先

〒669-6728 新温泉町対田 283-1（浜田）



久斗地区公民館

TEL/FAX 0796-82-2962 e-mail: kuto_tiku@yahoo.co.jp

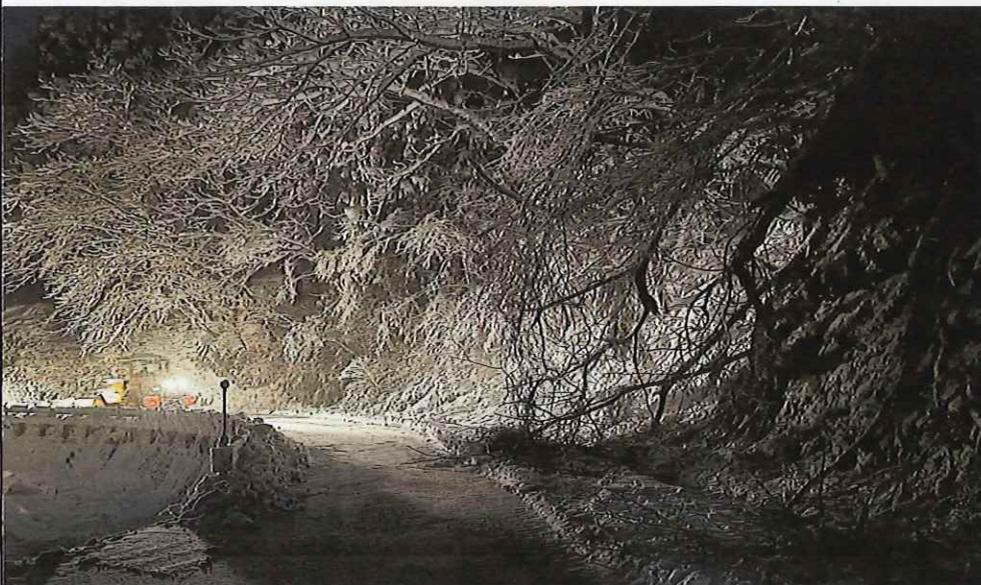
久斗山地区公民館だより



【ご挨拶】 令和8年(2026年)新春のお慶びを申し上げます。今年は“午(うま)”、馬年です。干支の漢字を見て「あれ、牛に似てる(干支の牛は“丑”)」と、今更ながら思いました。但馬では牛の方が馴染み深いですが、馬も牛も昔から農耕に使役されてきた動物で、どちらも人との繋がりは密接で大切な家族同然の家畜でした。牛に対し、馬は角がないから“午”の字を当てたそうです。午年生まれは行動力があり、積極的で社交性に優れ、情熱的で冒険心がある人だそうで、まさに馬のような性格の人です。午年は飛躍的で力に満ちあふれた年になるそうです。未来に向けて、今年、何かを始動してみるのも良いでしょう。どうか良い年に！

【強烈寒波による雪害、倒木にご注意！】 令和8年、新年早々から大雪になりました。

元日の夜から降り続いた重く湿った雪は、2日の未明には30cm近く積り、日中もずっと降り続けました。雪は木の枝などに着雪し、その重さで県道など各所で枝が折れたり倒れたりして道路を塞ぎ、電気や電話の線を切断する被害が出ました。道路管理者や電力会社の緊急処置で通行止めや停電などはすぐに復旧しましたが、まだ木の枝がひっかかったままです。車の通行には十分に注意してください。



県道、境の上で倒木があり、除雪車で枝を押し込んで車が通れるようにする (令和8年1月2日)



町道大味線



境の下で電線を切断 (令和8年1月3日)

【雪像、かまくら、雪あそびを楽しもう！】

1月17日、朝かいい天気になりましたが、気温は氷点下で凍っています。でも、久斗山自然教室「雪像づくり&かまくら&雪あそび」を開催しました。ここ数日、気温が高い日が続き雪が溶けてしまって、当日に雪があるか心配でしたが、なんとか持ち堪えてくれました。幼児から大人まで26人の参加がありました。最初は動物のイラストを貼ったペットボトルに雪玉をあてて倒すと商品がもらえるゲーム。近くの小型の獲物は当てやすいけど、鹿や猪熊は遠くて当てにくい。凍ててザラメになった雪では雪玉が作りにくかったけど、それでもなんとか獲物を倒し、賞品を手にして喜んでいました。その後はまだ雪が残る斜面でソリ滑りをしたり、かまくらの代わりに四角く切り出した雪の塊を積んで仮のイグルーのような部屋を作ったり、休憩には焼いた栃餅が入ったぜんざいや生のかき餅やサツマイモの輪切りを焼いて、おやつにしました。食べ終わるとまた雪あそびを再開です。半日の行事でしたが、みんな元気に時間いっぱいまで雪を楽しみました。



動物の絵を貼ったペットボトルに雪玉を当てる



凍てた雪の塊を積んでイグルーを作る



斜面をソリで滑る



竹で作ったスキーに挑戦

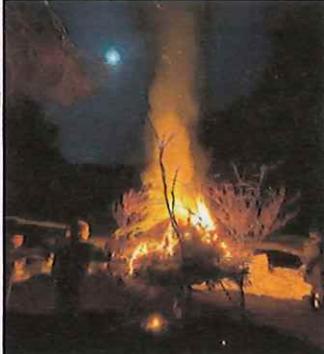
【新年を迎える大しめ縄作り】

12月20日、朝からすこやかうらや神社総代ほかのみなさんが藁などの材料を持ち寄って、大杉神社の鳥居にかけられる大しめ縄を作りました。3本の太い藁の束を、数人で力を入れて撚り合わせ、最後に房と四手を付けて完成です。さっそく1年間かけたままの古いしめ縄と交換しました。今年は細めとの意見もありましたが、良い年を願います。



【無病息災、家内安全、とんと焼き】

1月7日の早朝、毎年恒例となっているとんと焼きを行いました。気温は氷点下となり、この冬一番の寒い朝で路面は凍結していましたが、各家々が正月飾りを持ち寄り、午前6時に火を点けると勢よく燃え上がりました。年々、飾りも少なくなってきたり、朝、もう少し遅い時間にしてはどうかとの意見もありますが、また来年...



【新温泉町二十歳のつどい】

1月11日は雪の降る寒い一日でしたが、夢ホールで二十歳のつどいが開催され、122人の対象者の内、104人が出席しました。当地では、一昨年19歳の若さでこの世を去った中村悠大さんもこの日を待ちにしておりましたが、残念です。心からご冥福をお祈りします。



【第16回書のまち新温泉、町民交流書道展】

新温泉町はこれまで多くの書道家の先人を輩出していますが、今も町内には素晴らしい書道家が居て、その作品が一室に鑑賞できる書道展が、1月10日～21日の間、以命亭で開催されました。展示されている大小25の作品はどれも力強く圧巻で、感銘を受けました。



【民生・児童委員ご紹介、山本明彦さん】

民生・児童委員の改選に伴い、この度、新たに山本明彦さんに久斗山・境地区の担当をしていただくことになりました。民生委員は地区の高齢者や住民の生活上の相談や、子育てに関することまで幅広く関わる大変な仕事です。任期は3年間、お世話様ですがお願いします。



○令和8年 2月の行事

- 3日(火) 節分
- 8日(日) 「牧場公園 雪まつり」(10:00～ 兵庫県立但馬牧場公園)
- 8日(日) 「かんじきハイキング」(9:30～15:30 上山高原エコミュージアム)
- 14日(土) 久斗山自然教室「動物のあしあとさがし&雪上ハイク」(9:00～12:00 久斗山地区公民館)
- 22日(日) 「スノーシューで歩こう! チャレンジコース」(10:00～15:00 兵庫県木の殿堂)



＜上山高原エコミュージアム＞

かまくらあそび

令和8年2月7日(土)

●場 所: 上山高原ふるさと館 ●開会時間: 13:00～15:30

ふるさと観光センターにおいて、「あそびあそび」を開催いたします。雪に「雪遊び競争」などの遊びも含まれていますのでお楽しみください!

「かまくら」で雪体験!

- ・ お餅、ぜんざい等 無料!
- ・ 富士アトラクション体験!
- ・ 雪遊び (富士山やソリ競争)

・ 雪上で体力勝負! ・ 午後1時30分ころから

※参加費: 1名様100円・上記は最低あり!

- ・ 雪上走り競争 (タイムレース)
- ・ 親子リレー
- ・ 雪玉投げ競争

・ ぜんざいのサービス ・ 午後2時30分ころ

ぜんざい無料サービス ・ 料額100名限定!

・ お楽しみ抽選会 ・ 午後3時開始 (抽選券は別途2時までご用意)

※上山高原ふるさと館が主催の行事 (料金は別途、申し込み、お申込み等)

※天候や降雪量によって中止となる場合がございます。事前にお問い合わせください。

特定非営利活動法人上山高原エコミュージアム
〒669-6264 兵庫県丹波市新温泉町767-1
TEL: 0796-85-4600 FAX: 0796-85-4601
Mail: info@eco-museum.jp



ホラヒメグモの一種
洞窟の壁の窪みなどに網を張っている。

四季の久斗山生物だより
ホラヒメグモの一種 (クモ類)

洞窟など、光が無い暗い世界に棲んでいる小さな蜘蛛です。そのため体は半透明で、目が無い種類もいます。鍾乳洞など、深い洞窟では、外部と隔離された固有種が見つかっています。一年中、温度が一定の地中は、夏は涼しく、冬は暖かいので、暗黒でも棲みやすいのかもしれない。

かかってに音話 第十話
ちぎれ耳の大鹿 作、いっこう

牝鹿からは相手にされなないけれど、牡鹿は突つかかれました。ちぎれ耳より角が一つ多めに枝に分かれた年上の牡鹿、その角を見せびらかせるように頭を低く構えてむかっけてきました。ちぎれ耳も負けじと頭を低くして対峙しました。

「ワッン!」

頭同士が激突した刹那、衝撃がきましたがお互い頭と角を突き合わせたまま譲りません。体格的にはほぼ同じで、力も互角でしたが、年上の方がわずかに勝りました。ちぎれ耳は負けを認めると、そそくさとその場を去りました。

成獣の牡鹿となると、大きく立派な枝角を持ち、首には黒いたてがみが生え、体格も絶大で迫力が違います。発情期特有の強い獣臭をまとい、多くの牝鹿を魅了します。若い牡が近づこうものなら「びいー!」と鋭い鳴き声を浴びせて、寄せ付けさせません。縄張りを持った牡鹿は牝鹿の群れを囲い、次々と交尾しました。牝はやがて腹に子を胎み、二百二十日ほどで、初夏の頃には出産しますが、季節は巡り、再び冬が到来しますが、その年は異常に気温が高かったです。降る雪は水気が多く、木の枝などにまとって着きました。重さに耐えかねた枝は折れ、竹は大きくしななって、枝先は地表に垂れ下がりました。餌の少ない冬場において、普段は口の届かない場所の竹の葉が食べられるとあって、竹林が鹿達のいい餌場になりました。春の到来は早く、立春を過ぎた頃には雪はすっかり消えて、暖かな日差しが地表を温め、野草の芽吹きを早めました。その年、冬に飢えて命を落とす鹿はほとんどいませんでした。(つづく)

赤崎地区公民館だより

2月号



公民館HP

あかさき

題字 山基洞宗



暦こよみ



● 二十四節気：大寒 だいかん 1月20日～2月3日頃

冬の最後の節気。池に氷が張り凍てつく寒さが続く。大寒最後の日が節分。

七十二候

- ❄️ 1月20日～1月24日頃 歎冬華(ふきのはなさく)
凍てついた地面に落の花が咲き始める頃。春いちばんの使者。
- ❄️ 1月25日～1月29日頃 水沢腹堅(さわみずこおりつめる)
「腹」には厚いという意味がある。流れる水にも厚くて堅い氷が張る頃。
- ❄️ 1月30日～2月3日頃 鶏始乳(にわとりはじめてとやにつく)
春の気を感じ、自然に飼う鶏が、たくさん卵を産み始める季節。



ツムラ暦

● 二十四節気：立春 りっしゅん 2月4日～2月18日頃

梅が咲き始め、徐々に暖くなり春の兆しが見られる頃。一年の始まり。

七十二候

- 🌸 2月4日～2月8日頃 東風解凍(はるかぜこおりをとく)
暖かい春の風が、冬の間張りつめていた氷を解かし始めるころ。
- 🌸 2月9日～2月13日頃 黄鶯睨睨(うぐいすなく)
その年の一番初めに聞くウグイスの声を「初音(はつね)」という。
- 🌸 2月14日～2月18日頃 魚上氷(うおこおりをいずる)
春の暖かさで湖や川の氷が割れ、魚が氷の上に跳ね上がる頃。

七十二候

七十二候は、古代中国で考案された季節を表す方式で、二十四節気をさらに約5日ずつの3つに分けています。田植えや稲刈りの時期など農作業の目安になる農事歴でもあります。

▶ 2026年正月 2日の大雪と倒木と各地の通行止め 6日の鳥取・島根地震



各所の道が倒木で通行止めとなり、ひと坂公園の山の木は根ごとずり落ち、自得寺さんの裏手の山の大木が庫裡の大屋根に倒れ掛かり、楞厳寺の桜は太い枝が折れて本堂の瓦を壊しました。重い雪がひと段落した頃、鳥根と鳥取の県境で大地震と、大変な年の始まりでした。

各地の正月行事

▶ 1月16日・18日 指杭・田井の数珠くり



田井の数珠くり道具→



←指杭の数珠くり道具



野良素人のつぶやき  ▶ 作物の男女

新年おめでとうございます。

2月号ですので、ちょっと変な感じがしますが、今年初めての原稿なので、お許しください。さて、年明けから雪が降ったものの、すごく重たい雪でした。気温も少し高めなような気がします。10日には14℃にもなり、天気予報で11日～12日は大雪になるとの情報で、今年の天候不順を暗示するような気配です。



今回は、現代農業2月号の特集「続・品種と播き時 本気で見直すしかない 激夏をかわす新作物型」の中から、さまざまな地域の人々の取り組みを紹介します。



続・品種と播き時 本気で見直すしかない 激夏をかわす新作物型

2026年2月号は1冊まるごと「品種選び大特集」。反響の大きかった2025年2月号の巻頭特集「通用しない従来の暦 品種と播き時 本気で見直すしかない」の続編企画です。近年は春と秋が一瞬で通り過ぎ、「もう夏!?!」「まだ夏!?!」と思えるくらい厳しい暑さが続いています。通常ではありえない時期に病害虫が発生したり、作物が枯れたり、発芽がうまくいかなかったりと、今までの品種と播き時では立ち行かなくなってきました。しかし、農家はさすがです。品種の秘めたる力を生かしつつ、播種や収穫をずらして、激夏を軽やかにかわす新作物型や新技術を生み出しています。

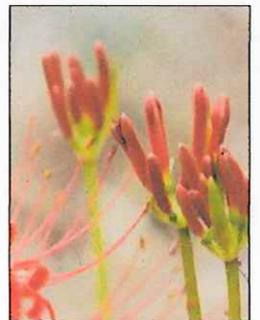
<https://gn.nbkbooks.com/?p=51280>

三重県の青木恒男氏（70歳）は昨年の経験をこう述べています。

——キュウリは雄花ばかりが咲くようになり、トマトは1ウネ全部青枯れ病で将棋倒し、オクラは片っ端から生理落下。そんななかピーマンとカボチャだけは各所に点々と、もりもりと図太く生き延びている——

また、青木氏は3品種のジャガイモ「デジマ」「きたかむい」「十勝こがね」を作っていて、6月どりのきたかむいは夏の間の自家用、休眠期間の長い（150日以上）十勝こがねは貯蔵用で年末までチビチビ売り、デジマは休眠期間が非常に短く、涼しいところにおいておけば、盆ごろに出芽してくるので、秋植えするそうです。秋ジャガは春ジャガと違って、完熟するより先に葉が霜に当たって強制終了となるので、土中での追熟を願って収穫はせず、必要な分だけ畑に取りに行き、鮮度を失い始めた貯蔵している十勝こがねから新鮮な秋ジャガに乗り換えて、春まで土中保存で食い繋ぐそうです。

先月は農と暦の関係として、桜の開花にちなんだ話を取り上げましたが、植物の生理が暦になる例として、「ヒガンバナの蕾の出現」をあげています。ヒガンバナの花は、夏までには発育を終えた状態で休眠に入り、地温が30℃を切ると一気に開花するらしいのですが、このプロセスは秋ジャガ、ニンニク、ワケギの発芽にそっくりなのだという。25年のヒガンバナの出蕾は9月15日くらいでしたが、種ジャガが盆ごろに出芽したからといって、残暑の最中に植えてしまえば再び休眠してしまいます。この地温30℃の壁を乗り越えるのに青木氏は白黒遮光シートをハウスに被せてコントロールされています。その他、トウ立ちの仕組みと回避術、結球しない白菜の対処法など、参考になることがたくさん書かれています。



もう一つ興味深いのが、「タネ代高騰、タネ不足!?!いまこそ自家採取」（164～177ページ）です。「『これっぽっちしか入ってない』なら自分でタネ採りしちゃえ」と題して、福島県郡山市の喜寿を迎えた大山よし子さんは、年々タネ袋に入っている量が少なくなっているため、タネ採り熱が高まっている。スイカやメロンなど食べて美味しい果物から種をとっているとのこと。神奈川県平塚市の小巻秀任さんの「失敗なし！ダイコンのタネ採り術」では、年間400種の固定種野菜を自家採種されているとのこと。自家採種が難しいと言われるアブラナ科の中でダイコン類は、アブラナ科のハクサイ、カブ、キャベツ、コマツナなどとは交配しにくく、比較的採取しやすいとのこと。具体的な採種方法を3ページにわたって詳しく紹介しています。タネを採るために選別する「母本」の選別方法、葉の形状のこと、その母本の植え替え方法、採種方法、保管方法まで及んでいます。

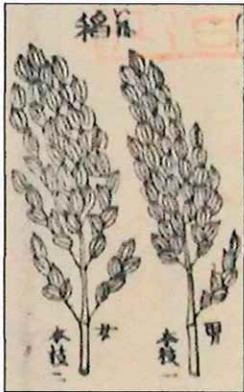
野良素人のつぶやき



▶ 作物の男女

次に、連載の「今に活かせる、江戸農書の栽培技術」では「草木撰種録よりタネは『雌』から採るべし」とあり、いろいろな作物の男女の区別方法が紹介されています。稲の雌穂については以前2025年10月号で紹介したことがありますが、今号には稲を含め33種の作物が図で説明されています。原本は江戸時代末期の文政11年(1828)に刊行されています。(一枚刷りの資料ですので今回特別にB4版を合わせて配布しています)

原本の著者は下総松沢村(現在の千葉県旭市)の農民、宮負定雄です。宮負という姓は宮負家が熊野から宮を背負ってきたことに由来しているそうです。宮負は作物の雌雄論が古くからあるが、草木の雌雄をどのように区別すればいいのかが詳しく書かれていないことや、書かれていても誤りであり、農民を惑わすばかりであると断じています。唯一、同年に刊行された摂津の農民、小西篤好著「農業余話」が正しいものであると記されています。草木撰種録は一枚刷りであることや識字率が低かったこの時代に図で説明されていたことなどから、当時ベストセラーになり、この後海賊版が出たり、扇子に作って売り出すものまであらわれたとのこと。

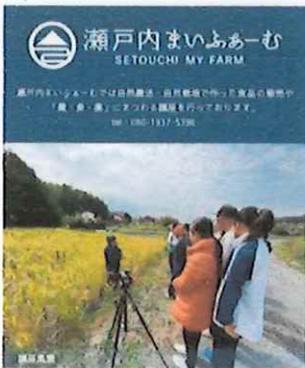


この紹介記事の著者、高内実氏は、氏の広島島の圃場において自然栽培での結果として、雌雄選別導入以前の収量約6.6俵(396kg)に対し、導入後は1.2倍の平均8俵(480kg)前後で安定しているそうです。宮負定雄が反当2斗~3斗(30~45kg)の収量増と述べていることから、それより効果が上がっていることとなります。また、雌からとっていくことで雌の割合自体が増えていくのも面白いと述べています。刈取り前に雌穂にピンクのリボンで印をつけ選別しとあり、稲刈り後自然乾燥しているものと考えられます。そして、植物学的な根拠はわかりませんが、氏の実践での成果として、雌雄を細やかに観察し、雌の穂や個体を栽培するだけで、自然農法であっても安定的に収量を増やせており、誰にでもできる魅力的な技術と述べています。農業従事者は高齢者が多く、年とともに力仕事が辛くなる中で、収量が種の選別だけで増やせるなら試してみる価値はあると思われれます。なお、当地域ではコンバインでの刈り取り

が一般的ですので、コンバインでの刈り取りの前に雌穂を田んぼから取り出して分別する必要があります。宮負が賞賛した小西の農業余話では、「穂に種子を突らせる作物は、穂が8、9分ぐらい熟した時刈り取るのが良い」と書かれています。そうならば、種用用の稲は、コンバインで刈り取る前に雌穂を探して刈り取って、別に乾燥する必要がありますので、自ずから食用にする稲とは別の取り扱いになります。

高内氏は稲以外にサツマイモやサトイモの雌雄の選び方も紹介しているのでぜひ、一読してみたいかたがでしょう。なお、ナスなどの果菜類は見分けが曖昧で穀類ほど劇的に増収しないと述べています。

現代農業の編集後記(286ページ)には、編集者の気づきが書かれており、これを読むともう一度記事を読み返したくなります。現代農業は加藤文太郎記念図書館にも配架されていますので、興味ある方はぜひ一読ください。



▶ 高内実氏のHP 『瀬戸内まいふあーむ』の紹介

1996年、自然農法家・福岡正信氏の著書『わら一本の革命』に深く感銘を受け、直接翁を訪ね自然農法を学ぶ。翌年より、虫や草と争わない自然農法に取り組み、以来、稲作・畑作を継続して実践している。あわせて、江戸時代260年にわたり培われた日本の古式農法や農書を研究。江戸時代に成し遂げられていた「循環農法」を現代に広める活動を行っている。現在は、実践と学びを体系化した「帰農学校」および「江戸農書を読む会」を主宰。 ホームページURL: <https://setouchimyfarm.com/>



『江戸農書 "農業全書" を読む会』とは？

江戸時代は高度経済成長が100年あり、その後160年は低成長時代でした。この間は国内戦争はもちろん対外侵略も無くそれでいて、経済は自立し、人口3000万人の食糧自給率は100%を保持していました。このような社会実験は世界のなかでも日本にしかありません。私たちはその貴重な歴史をもっと大切にしなければならないと考えます。その答えが江戸農書には詰まっているのです 毎週木曜日ZOOMにて開催しています

詳しい内容は、読む会専用ページをご覧ください。 URL: <https://tinyurl.com/9n8d4x5r>



(紹介の内容は『瀬戸内マイファーム』より引用しています <https://setouchimyfarm.com/> 2026年1月19日閲覧)

2025年12月20日(土)～2026年3月8日(日)
京都国立近代美術館(京橋分館)
Sat, December 20, 2025 - Sun, March 8, 2026
The National Museum of Modern Art, Kyoto

#WhereDoWeStand?—Art in Our Time
セカイノコトワリ—私たちの時代の美術

江原河野劇場
たじま児童劇団
ジュニアクラス
『発表会』

2026年
2月15日(日) 14:00

チケット 500円
11歳以下 無料(観客券)

会場：江原河野劇場

ミャンマーへの緊急支援をお願いします

ミャンマー地震 義援金 子どもNGO懐
但馬銀行浜坂支店 普通
4615178 ヒトチキユウノキキ 宛

ウクライナ緊急支援のお願い
—いま、私たちができることをウクライナの人々のために—

小さな女の子が、戦場から連れ戻すのを助ける。
小さかった女の子が、戦場に行く。
いま、ウクライナと隣国間で緊急に必要なとされている支援とは

子どもたちに平和と希望を 特定非営利活動法人(認定NPO法人)
パレスチナ子どものキャンペーン

ガザ緊急支援

2026年2月

- 日本の祝日
- 日食・月食・日面経過 (国立天文台暦計算室)
- 旧暦カレンダー(日時設)
- 二十四節気・雑節 (国立天文台暦計算室)
- 六曜
- 学校
- 地域祭事など
- 展覧会・公演
- 赤崎4地区行事
- 地域行事
- 朔弦望 (国立天文台暦計算室)
- 公民館

日	月	火	水	木	金	土
1日 ●赤市区対…(三木市) 先勝	2日 友引 望(満月)	3日 節分 田井いきま百歳体操 ●浜坂中 入学説明会 先負 節分	4日 ●人権相談—文化会館 赤崎いきま百歳体操 仏滅 立春	5日 ●宇都野学…例講座(多目) 大安	6日 ●浜坂東小入学説明会 赤口	7日 ●かまくら…技体験(上山) ●スキー教室(牧公) 先勝
8日 ●海上かんづ(上山) ●牧場公園—ワ(牧公) 友引	9日 先負 下弦	10日 田井いきま百歳体操 仏滅	11日 建国記念の日 赤崎いきま百歳体操 大安	12日 ●浜坂北小 スキー教室 赤口	13日 ●浜坂北小 入学説明会 先勝	14日 ●スキー教室(牧公) 友引
15日 先負	16日 ●税の申告…3/16まで ●浜坂東小参観日 仏滅	17日 田井いきま百歳体操 先勝 朔(新月) 金曜日食	18日 ●法律相談(—社センター) 赤崎いきま百歳体操 ●とちのみ…了式(夢ホ) 友引	19日 ●宇都野学…式(多目) ●浜坂北小…も園参観日 先負 雨水	20日 ●浜坂認定…入園説明会 仏滅	21日 ●スキー教室(牧公) 大安
22日 ●藤原のまちふれあいバスケット大会(健公)～2/23 赤口	23日 天皇誕生日 先勝	24日 田井いきま百歳体操 友引 上弦	25日 赤崎いきま百歳体操 先負	26日 ●いい風呂—ゆ〜らく館 公民館だより発行 仏滅	27日 ●浜坂高校 卒業式 大安	28日 赤口

▼移動図書館 第4水曜
和田 14:25-14:40 赤崎 14:50-15:05
田井 15:50-16:05 指杭 16:10-16:25

令和8年
2月号



御火浦

三尾地区
公民館だより

発行
令和8年1月22日



皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

公民館の事業に対してご理解とご協力をいただきありがとうございました。

今年も年明けから寒気の影響で大雪になり、2日には雪の重さに耐えられない木の倒木で除雪車が入れず、撤去に時間がかかり一日中区民の皆様にはご迷惑をおかけしました。又6日には鳥取西部でマグニチュード7.3で境港市では震度6強の地震が有り但馬地方でもかなり揺れましたが震度1のようでした。但馬では被害も無く安堵しました。1月17日は阪神淡路大震災から31年経ち当時の悲惨な事実・状況を忘れつつ有りますが、あのような災害が来ない事を祈ってます。

今後いつ何処でも地震が有っても良い様に、緊急持ち出し品を用意しましょう。

この三尾地区は、特に過疎化・高齢化が進み児童生徒数が大変少なくなり地区の行事や各地区での行事など参加者が年々少なくなってきたというのが実感です。和気あいあいと出来る事業を考えますので、参加お願い致します。

これからが冬本番ですが、今年も寒くなるの予報です。海辺は積雪が無くても風が強く気温の低い日があります。風邪・インフルエンザにも気を付けてくれぐれもご自愛ください。

今年一年、区民皆様のご多幸をお祈りいたします。

令和8年1月・2月 公民館及び地区他行事



令和7年12月28日(日)正月用生け花教室



この度初めて
正月に華やかに飾
って頂こうと生け
花教室を実施しま
した！

参加して頂いた皆さんは、
基本だけ教えてもらって
各々生花を綺麗に生けて、
持って帰って来る正月に
華を添えて頂いたようで
した。



令和8年1月2日(金)

正月早々大雪になり重い雪の為赤崎三尾間で相次ぐ倒木により、除雪車が来れない状況になり排除に時間がかかり、ご迷惑をおかけしました。



ゴミステーション下側の
倒木、切断して山側へ



三尾橋花壇付近・トンネル
出てすぐ倒木も撤去

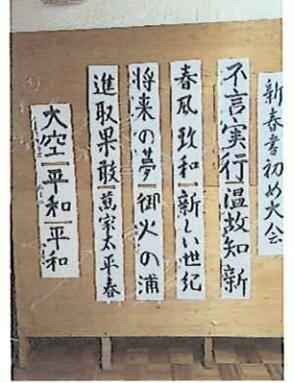
1月7日(水)AM6:00~大三尾とんど焼き

天候が心配されましたが、コミュニティ体育館の海側で風も弱く実施出来ました。



1月4日(火)

新春書初め大会

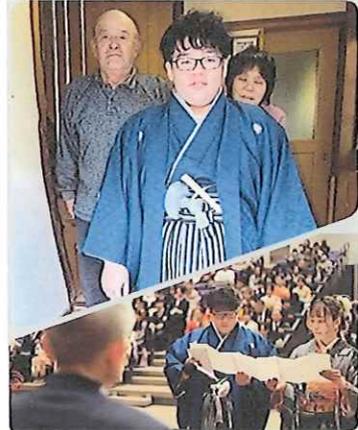


毎年恒例の書初め大会を実施しました。脳本先生には毎年お世話になっておりますが、沢山集まって頂けて助かりました。正月から精神統一出来ました！

トイレ横に掲示しましたので、ご覧下さい。

1月11日(日)

新温泉町 二十歳のつどい (夢ホール)



今年の二十歳のつどいは、雪交じりの天気でしたが、艶やかな晴れ着・羽織袴・スーツ姿の皆さんが夢ホールに集まり、お祝いして頂きました。今年も昨年に続き兄弟で二十歳の誓いを弟の中村柊太君が代表で発表しました。

氏子総代より

25日(日)午後7時より宮籠りを実施します。お神酒を頂き、会計報告を行いますので、時間までに集会所に集まって下さい。

氏子総代が管理してますソウダでの駐車場で1台分空いてますので、ご希望の方は毎月1500円で借りられますので氏子総代に申し出て下さい。

速報! 1月17日(土)

青推協三尾地区ポッチャNo1決定戦大会

公民館だより2月号には掲載間に合いませんでしたが、数珠繰り含めて3月号にて結果の詳細を掲載いたします。

結果速報 掲示板名簿で表示します。

優勝チーム まさし・たいち・ヒロユキ
準優勝チーム 脳本結子・脳本心結・大神とし子

3位チーム 晴太・長太郎・勇翔

3月号をお楽しみに!

今年三尾で二十歳になった方は、中村柊太君でした。おめでとうございませす！
おじいちゃん、おばあちゃんも祝福しました！

令和8年1月公民館・地区・他活動(予定含)

隔週水曜日 いきいき百歳体操(有志)

随時 やまざくら

2日(金) お日待ち(集会所で合同)

4日(日) 公民館 新春書初め大会

7日(水) とんど焼き

7日(水) 小中学校 3学期始業式

11日(日) 新温泉町二十歳のつどい

17日(土) 第1回 青推協ポッチャ大会

17日(日) 午後 数珠繰り・念仏講

25日(日) 宮ごもり

2月公民館・地区・他活動(予定)

隔週水曜日 いきいき百歳体操(有志)

随時 やまざくら

3日(火) 節分

27日(金) 浜坂高校 卒業式

春來地区公民館だより

春來



2月

令和8年1月20日

第92号

(文責 田中篤幸)



新年号



第22号です。春來の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

(株)春來てっぺん創業記念式典
(11/25) 参加者約100名



新温泉町文化祭 (11/2~4)



参加者数 (作品展874名、舞台発表929名)

ドコモスマホ教室 (10/19、26)



いきいきサロン (10/21)

今日のおやつはフルーツパフェです。私もいただきました。とてもおいしかったです。



青推協町民大会 (11/8)



第47回全国公民館研究集会 (11/13)



東京で行われた研究集会に参加しました。



企画展、今後の予定など

★今後の予定★

R7年

12月～R8年3月（休館）

R8年の予定

4～5月 短歌作品展（予定）

福井弘子 氏

6～7月 絵画作品展（予定）

山西周二 氏

8～9月 切手アート展と「木の枝工作」小学生作品展（予定）

10～11月 着物のリメイク展（予定） なっちゃんのリメイクの会

12月～R9年3月（休館）

R9年以降の計画等 ※阪本善行 氏 但馬の先人（計画中）

※田中初子 氏 絵手紙展（計画中） ※小谷 定 氏 絵画作品展（計画中）

※松崎直樹 氏 子どもの作品展（ポスター、デザイン）（計画中）

※福井哲也 氏（香住の先輩）鉄道写真展（計画中）

「春來の歴史と出口氏」（講話）11/15



「細田すこやかクラブ」
の皆さんにお話しをしま

した。熱心に聞かれている姿が印象に残りました。



春來の自然 「アサガオ」



左の写真は10月12日（日）に開催された「区民ふれあい運動会」の時に校庭で撮影したものです。アサガオは7～8月開花の印象が強く、違和感を感じたので開花時期を調べてみました。

1) 日本アサガオ・・・7月中旬～8月

2) 西洋アサガオ・・・8月～9月

3) 琉球アサガオ・・・7月～11月

ということなので、校庭のアサガオは「琉球アサガオ」ではないかと想像します。種をいくつか拾ってきたので、来年の6月頃に自宅のプランターに植えてみようかと計画しています。



あっちゃんの夏休み（22）「小さな動物王国」（1）

幼い頃、あっちゃんの家には、たくさんの動物がいました。毎日、彼（彼女）らと遊んでいたあっちゃんは楽しかったことでしょう。

1) 牛・・・多い時で大人牛2頭、子ども牛2頭でした。同じ家の中に住んでいました。父親が、「おまえが大学に行けるのは牛のおかげだよ。」と言っていたのを思い出します。

牛市の日、母牛が別れを惜しむかのように大きな声で鳴きます。その時、ドナドナの歌を思い出すのです。「ある晴れた昼下がりに市場へ続く道・・・かわいい子牛売られてゆくよ 悲しそうな瞳で見ているよ・・・ドナドナドナ、ドナ・・・」

2) 猫・・・「コロ」「ミケ」等、色々な猫と一緒に遊んでくれました。ある日、かわいい子猫が生まれ、6匹になったことがありました。親猫（母猫）は生まれた子どもを愛おしそうによくなめまわしています。生まれた子猫はともかわいく、だんだんと他の家にもらわれて行きます。そして、すべてもらわれてしまうと、母猫はいがぐり頭の「あっちゃん」の頭をなめてくれました。ザラザラした舌の感触はあまりよいものではありませんでした。でも、母猫の気持ちを思うとしんぼうしていました。

もしかしたら、子猫のにおいがついてたのかもかもしれません。

3) 犬・・・何匹かいたのですが、一番覚えている犬は「コロ」です。赤ちゃんの時からずっと一緒でした。小さくて、丸っこくて、かわいらしいので「コロ」と「あっちゃん」が命名したのだと思われます。とてもかわいがっていたのに、ある日突然、行儀見習いで誰かの家に預けられました。その後、いつまで待っても帰ってきませんでした。（つづく）



ななむら

第127号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和8年1月1日現在

世帯数：519世帯

人口：男 607人

女 701人

計 1,308人

今年は『午年』! 活気ある年に!

照来地区の皆さん、健やかに新年をお迎えしたことと思います。2026年も皆様にとって明るく希望に溢れる1年となりますようお祈りいたします。

さて、今年は「午年」です。「午」は、太陽が最も高く昇る時刻を表す文字であり、活力・情熱・行動力の象徴とされています。

しかし、年明け早々からアメリカ軍がベネズエラへ軍事介入、中国の日本への輸出規制等、心配されることがたくさんあります。

馬にまつわる言葉の中に「塞翁（さいおう）が馬」ということわざがあります。人生は、良いことも悪い事も予測できないという意味ですが、この1年どうなるのか予測できません。駆け抜ける馬のように、活気ある年であることを願うばかりです。

う まくいく年にしましょう!

ま えを向いて!



午について

以前にも干支のことは紹介しましたが、干支は『子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥』の十二種類で表されます。この中で「午」は、ちょうど7番目に当たりますが、この「午」という字「うま」と読む以外に「ご」とも読みますよね!

そうです「正午」「午前」「午後」など「午(ご)」が時間を表す言葉に使われています。

なぜ、時間を表すのに「午」の字が使われているのかというと、現在では、1日は24時間で区切られていますが、江戸時代までは、1日を12の刻(こく)に分けて生活していました。

その刻を表す方法の一つとして、年を表すのと同じ干支(子・丑・寅…) で時刻を数える方法があります。

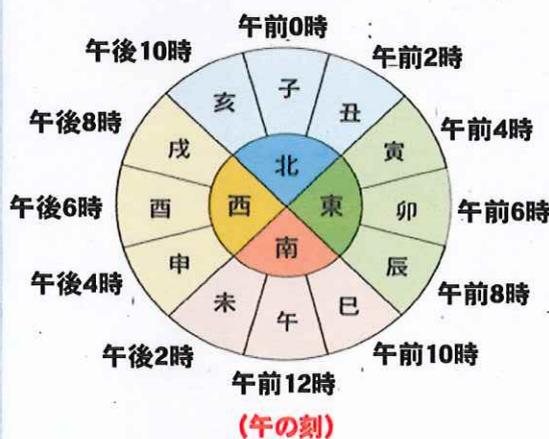
干支で時刻を数える場合、午前0時前後を「子の刻」とし、そこから2時間ごとに、丑、寅、卯…と順番に進んでいきます。

夜中の2時頃のことを、時代劇などを観ていると「草木も眠る丑三つ時」と言ったりしますよね。三つ時は、「丑の刻」をさらに30分ごとに四等分したうちの三番目ということで、午前2時から2時30分までとなります。

そうして数えていくと、ちょうどお昼の12時が「午の刻」になります。12時を「正午」と呼ぶ「午の刻」より前が「午前」「午の刻」より後が「午後」という言葉が生まれました。

実は干支は、方角を表す際にも使われています。北が「子」、東が「卯」、南が「午」、西が「酉」です。

北極と南極を結ぶ線を「子午線」と呼ぶのも、北(子)と南(午)に由来しています。



照来には『お日待ち』と『総祈禱』が!

先日、ある方から「塩山はお日待ちされましたか?」と尋ねられ、「塩山はお日待ちではなく『総祈禱』って言うのだが。」と答えると、「それって照来の人には知りませんよ。公民館だよりに載せてはどうですか。」と言われ、今回載せることとしました。

そもそも「お日待ち」とは、文字通り、集落の人々が1箇所に集まり、夜通し起きて日の出を待ち、五穀豊穡や家内安全、地域の繁栄などを祈願する日本の伝統的な宗教行事です。太陽神である「天照大神」を祀り行なわれるのが主流ですが、中世以降神仏習合の時代になると仏事でも行なわれるようになりました。照来では、塩山と飯野は、仏事で行なわれており般若心経を千回唱えています。ただ、名称が塩山以外は「お日待ち」と言いますが、塩山だけは「総祈禱」と言います。何故この名称になったのかは現在調査中です。ちなみに、新温泉町内の地区公民館長にお聞きしましたら、どこの区も神事として行なわれ、名称は「お日待ち」だそうです。

塩山の「総祈禱」



1.17を忘れない！

先日、新聞を見ていると、31年前に発生した阪神淡路大震災の記事が多く掲載されていました。その中に、震災後当時の子どもたちが書いた詩の一部が目にとまりました。それは、「学校が5時間目まであって、給食もあって、ごくふつうのこと。こんなのいやだと思っていたけど、今はその時にもどりたい。あたりまえが一番いい」という詩でした。

「あたりまえが一番いい」当時の心境がよくわかる言葉だと思いました。震災に限らず「あたりまえ」が「あたりまえ」で無くなるのが誰にも起こりうるのだと思います。

今では、こうした震災体験を語り継ぐ人が年々減っていると感じます。風化させてはならないと思います。

私も1.17を忘れないためにも「1.17のつどい」に参加する予定です。(この公民館だよりが届く頃には終わっていますが)

参加者募集!

お知らせ

「照来地区卓球大会」

日時: 令和8年2月11日(水)

午前9:00~

場所: 健康公園体育館

申込先: 村尾国治(事務局)

各区体育推進委員

申込期限: 令和8年2月2日(月)

主催: スポーツクラブ21照来

南海トラフ地震は対岸の火事ではありません！

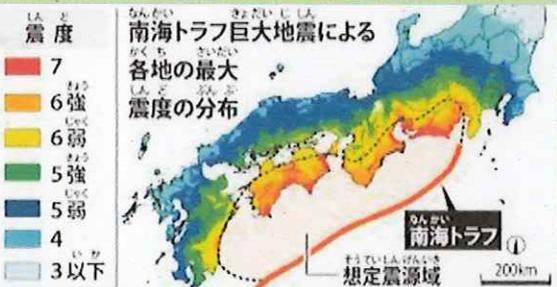
1月6日(火) 島根県東部を震源とする最大震度5強の地震がありました。記憶に新しいところだと思いますが、近年、こうした大きな地震が全国各地で発生しています。

そんな中、今注目を集めているのが「南海トラフ地震」です。今後30年以内の発生確率が60~90%程度以上と言われていますが、根拠の一つに「南海トラフ地震」は概ね100年~150年間隔で繰り返し発生しているということがあります。

先日の新聞に「南海トラフ地震」と山陰の地震との関連についての記事がありました。

- ◆北但馬地震 大正14年(1925年)5月
- ◆北丹後地震 昭和2年(1927年)3月
- ◆鳥取地震 昭和18年(1943年)9月
- ◆福井地震 昭和23年(1948年)6月

昭和19年12月に発生した「南海トラフ地震」前後に山陰・北陸の地震(左表)が発生しており、近年の地震発生に似ているというものでした。皆さん、「南海トラフ地震」を対岸の火事と思わず日頃から備えをしておきましょう！



照来の歴史 (81) 『太閤清水』

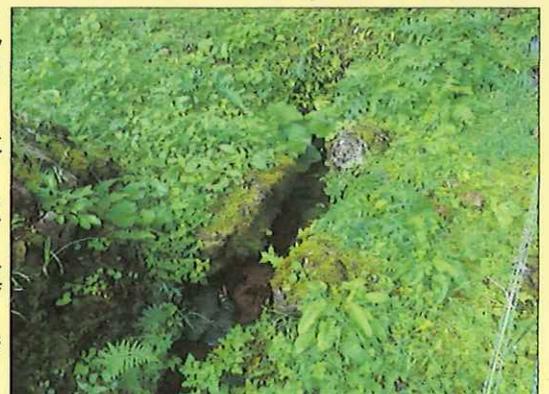
照来地区公民館だより(第119号)で紹介しました2026NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」が、今月から放送されています。以前照来の歴史でも紹介しましたが、天正9年(1581年)に豊臣軍は照来を通過して中国攻め(鳥取城攻め)に向かっています。その際、三原野の手前(相岡)で太閤秀吉が清水を飲んだと伝わっています。このことは、「照来考」や「温泉町史」「温泉町の民話と伝説」などに載っています。

『照来考』には、次のように記されています。

『天正9年豊臣秀吉は、鳥取城攻撃の途上照来を通過し、飯野に暫時滞在したとの口碑があり、二方考にその記事がある。照来村内及びその近傍には、豊太閤の遺跡と称するものが諸所にあるが、切畑から相岡に通ずる路傍に「太閤清水」と呼ばれるものが現存し、天正9年6月19日、豊臣秀吉の軍が七美小代谷から攻入り、この地を通過の際、暑気甚しく士卒大いに渴し、百万水を求めた末、漸くこの清水を得て涸渴を免れたという。この太閤清水の事は、但馬考、二方考にも載っている。この清水の附近にある柳の老木は、秀吉食後の箸を地中に挿し込んだものが、発芽したものであると伝えられている。』とあります。

しかし、ご存じのとおり秀吉は照来を通過していません。通ったのは今回大河ドラマ「豊臣兄弟」の主人公となっている秀長です。この時代写真があるわけでもないので、豊臣軍が通ったとなると秀吉が通ったと思込み「太閤清水」と呼んだのかもかもしれません。

相岡の方に「太閤清水」の場所を聞いて行ってみました。写真はわかりにくいですが、言われた場所から湧き出ている清水です。周りに清水が湧き出ているところはここだけでしたので、ここで間違いのないと思います。しかし、柳の木は見あたりませんでした。



八田地域の皆様、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年は、地区公民館の諸活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年も皆様楽しんでいただけるような催しや講座の充実を図ってまいりたいと考えております。引き続きご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、正月の寒波以来しばらく暖かい日が続いていましたが、1月も後半になり大きな寒波の到来で、この公民館だよりが届く頃にはかなりの積雪になっているのではないかと思います。風邪やインフルエンザ等の予防はもちろんのこと、除雪等の際にはくれぐれも安全に気をつけて作業するなど、日々健康で安全な生活に心がけてください

地区公民館の事業から



習字講座受講生作品展

小谷先生の習字講座

昨年4月から始まった本年度の習字講座も残り2回になり、2月末から始まる八田地区文化祭に展示する作品づくりに力を入れているところです。現在講座生は12名ですが、その講座生による作品展が八田コミセンにおいて開催されています。受講生の皆さんが常日頃から熱心に取り組まれている成果が表れた力作が並んでいますのでどうぞ来館いただければと思います。(作品展は1月30日(金)まで開催です。)

先日、八田地区体育館天井照明のLED化工事が行われ、以前に比べて大変明るくなりました。

冬場のこの時期も各種団体が利用されますが、「とても明るくて安全に運動できます…」という声が聞かれます。残念ながら何度も工事関係者に点検していただいている雨漏りについては依然として改善されていませんが、温泉公民館に来年度に向けて改めて対策を考えていただいています。





1月の健康づくり講座

1月20日(火)1月の健康づくり講座「ボッチャ練習会」を行いました。朝から大変寒い日でしたが、10名近い方が参加されて新年早々のニュースポーツを楽しみました。公民館長が審判をしましたが、皆さんもうルールを熟知しておられますのでお互いにボールの位置等を確認しながらゲームを進めました。

3月には、新温泉町の「ボッチャ交流会」が計画されているようですので、その大会を目標にこの冬場も練習を続けていきたいと考えています。今のところ2月は17日の火曜日に練習会を予定していますので、皆さんどうぞご参加いただければと思います。



「八田地区文化祭～趣味の日作品展～」のお知らせ

八田地区の皆さんには「文化祭作品募集チラシ」でご案内しておりますが、本年度も2月28日(土)から3月6日(金)までの期間『八田地区文化祭』を開催いたします。会場は例年と同じ八田コミュニティーセンターです。

写真は昨年開催した文化祭のものですが、数多くの素晴らしい作品を出展していただき会場にはたくさんの皆さんがご来場くださり大変喜んでいただきました。今回も楽しみにしててくださいね。何よりも、本文化祭が八田地域の皆さんの温かい心の交流の場になればと思っております。なお好評の「お茶席」は3月1日(日)に予定しています。



みあけ 46号

奥八田地区公民館 令和8年1月22日

謹賀新年

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます
今年もおだやかな**幸せ**あふれる年になりますようにお祈りいたします
公民館活動、新しい年も全力で頑張ります。昨年同様に皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします

令和八年一月



1月25日(日)新春🍵お茶会を開催します

「文化祭のお茶席凄くよかったです。交流館では是非とも、またお茶を頂く機会を作って頂ければ…」そんな声を沢山聞きリクエストにお答えしたく、小幡さんをお願いした所心よく引き受けて下さいました。新春にふさわしい美味しい🍵お茶、美味しいお菓子を頂き、皆さんでおしゃべりの花を咲かせませんか。沢山の参加お待ちしております。

1月25日(日) 10:00~12:00

(*この時間内に何時でも、お越し下さい。)

新春🍵お茶席 みあけ交流館(お茶代 300円)

今年の干支は、午(丙午 ひのえうま).....

60年に一度巡って来る特別な年、十二支の午に丙(ひのえ)という陽の火を組み合わせたもので、馬は躍動、成功、勝負に強い。この年は情熱的で強い意志や変化を意味するとされました。しかし、迷信ですが、歴史上、丙午の女性は気性が激しく夫が苦勞すると言う説があり、1966年の丙午の年には、事実、出生数が大幅に減少したと言われています。しかし、今では、午年生まれの人は、行動力があり、社会的で前向きな性格で、馬のように自由を愛し、スピード感のある決断力を持つ人が多いと言われています。

2026年は、この丙午の持つ力強いエネルギーを前向きに捉え、新たな挑戦や、道を切り開き、活気に満ちた縁起の良い年になりそうです。

午年は、勢いよく前進すべき勝負の年に.....皆様も、大躍進の1年に.....



とんど焼き(岸田区)・・・左義長、小正月に行われる火祭・・・しめ飾り、門松、書

き初めを持ち寄り、年神様を送りだし、無病息災や五穀豊穡を祈願する日本各地の伝統行事。燃え上がった火にあたると1年間病気しないとか、その火で焼いたお餅を食べると今年1年は健康に過ごせるとか、とんどの火で書き初めが高く舞い上げると字が上達するとも言われている。新年の始まりに感謝し、1年間の健康と幸せを願う日本ならではの冬の風物詩。(館長のひとりごと)・・・幼い頃、炎の勢いが鎮まると、残り火で餅を焼く。餅は1年間の平安を祈る神からの供物、餅の焼き上がりをわくわくしながら待ったものだ。年明の子供たちの楽しみの行事だった。とんどの火で清められた餅を灰の中から掘り出し、灰だらけの餅を顔を真っ赤にしてほおぼる幼い頃の私がよみがえる。今は、参加者も減つては居るが、いつまでも残していきたい行事である。

2月の予定

麻雀教室・6・13・20・27(金)8:30

習字教室・21(土)9:00

リメイクの会・14・28(土)9:00

歴史講座・15(日)9:00

ポツチャ練習会・9・23(月)9:00

地域食堂・1・15(日)11:00

突然スマホの緊急地震速報・・・数秒後に身体にゆれを感じた。1月6日午前10時18分・・・最大震度5強を観測した鳥取西部、島根県東部の皆さんは、さぞかし恐怖に肝を冷やされた事だろう。幸いにも新温泉町は、震度2を観測地震の被害は無しの情報。1月の地震と言えば1995年1月17日の阪神淡路大震災は生涯忘れられない。明石の近くに住んでいた私は、神戸の街の変わり果てた姿、日々増えていく信じられない死者の数に胸が張り裂けそうだった。国内の、防災意識は、あの日を境に大きく変わったのではと確信する。日頃からもしもの時のために家族と話し合い、万全の備えの必要性を改めて思う1日だった。